

3つの津波避難施設が完成

感謝状受賞者

津波避難施設（集会所併用）建設工事

- ▷設計施工監理＝㈱榎本建築設計事務所
- ▷建築・外構工事＝片岡工業㈱
- ▷電気設備工事＝依屋電気工事㈱
- ▷機械設備工事＝依諸岡設備工業
- ▷外構工事＝㈱ぐりーん興業

津波避難施設（城之内築山）建設工事

- ▷実施設計＝㈱ライフ計画事務所
- ▷建設・外構工事＝大昌建設㈱
- ▷植栽工事＝㈱長生園

津波避難施設（竜宮台築山）建設工事

- ▷実施設計＝㈱ライフ計画事務所
- ▷建設・外構工事＝㈱守野建設
- ▷植栽工事＝㈱東條高岡土木



本日、ここに長生村津波避難施設が完成し、千葉県長生振興事務所長をはじめ、多くのご来賓の皆さまの臨席をたまり、落成式を迎えます。これは、地域住民にとりましてものさえない喜びであります。

平成23年3月11日、東北地方を震源とした大地震による津波により、多くの方が犠牲となりました。千葉県においても、旭市をはじめ多くの地域で津波の被害を受けました。幸い本村においては、大きな被害はありませんでした。しかしながら、地震、津波は、いつ発生するかわからない、避ける場所がない場所がございます。九十九里平野の平坦な地にある長生村においては、避難する高い場所がございます。そこで、津波に対して、一時的に避難する場所として、集会所併用施設並びに築山公園2箇所を建設いたしました。

この施設の建設に当たっては、多くの学識経験者のアドバイス、本村議会の協議、そして、国、県の助言並びに財政的支援をいただき、本日に至ることができました。

これらの施設は、日ごろは住民のコミュニケーションや健康増進のための場として、また災害時には、一時避難の場所として住民の命を守る場となることを期待しております。

住民の命を守る砦に 長生村長 小高 陽一

「天災は忘れたことがありません」といふ言葉がはびこりますが、私は、地域の人々とともに常に防災意識を待ち続け、地域の安心・安全に全力で取り組んでまいる所存です。防災、減災は、施設の整備だけでは不十分です。この施設の完成を契機に、地域の方々と協力し、なお一層の防災対策の推進を図ってまいります。

同時に、施設の建設に当たり、地元選出の衆議院議員森英介先生、参議院議員行洋準一先生、水落敏夫先生をはじめ、各方面からご尽力をいただいた関係者の方々から感謝申し上げ、式辞いたします。



城之内築山公園

- ▷所在地＝一松丁2379 - 1
- ▷敷地面積＝約9600m²
- ▷工期＝平成26年9月20日～27年10月15日
- ▷災害一時避難収容人数＝290人（1人当たり1.0m²）
- ▷事業費＝2億0457.6万円（築山工事1億5660万円、連絡道・植栽・遊具工事など4797.6万円）

